



御殿場線19駅ウォーク(ファイナル)

2016.03.27 13km ゆったり 7km

国府津駅→沼津駅 歩き継ぎ

(5日間 約75km)

ファイナル

裾野駅～沼津駅

コースの概要

今回は電車での移動です。沼津駅で御殿場線に乗り換えて4つ目の駅、裾野で降ります。トイレは裾野駅と、駅から歩いて5分くらいの場所にある佐野原神社に併設される平松公民館で分かれて済ませます。体操も佐野原神社の境内で行います。御殿場線に沿って歩き、旧246(県道394)に出て、伊豆縦貫道のガードを抜けるとすぐに長泉なめり駅です。立派な駅ですが無人駅です。再び旧246に戻り、吉野家のところで左折して芦ノ湖水神社の前を通りしてしばらく歩き、鮎壺の交差点で左折してさらに次の信号で右折して直進すると下土狩駅です。駅前のコミュニティ長泉でトイレをお借りします(雨天の場合はここで昼食です)。線路に沿って若干戻り、踏切を渡って旧246に出て少し歩いて右折すると鮎壺公園に到着です。この広場と黄瀬川に架かる吊橋(鮎壺のかけ橋)を渡ったところにある鮎壺の滝公園で昼食です。ちょうどこの日は桜まつりが開かれており、観光交流協会の方が案内してくれます。トイレは鮎壺広場に男女各1つずつしかありませんので、出発時間を考えながら使用してください。昼食時間は長めにとり、鮎壺の滝公園で御殿場線19駅ウォークの全ステージ参加者の表彰を行います。ゆったりコースを選択した方は、ここがウォークのゴールとなりますので、下土狩駅から電車で帰宅します。普通コースの方は広場から住宅街を抜けて黄瀬川沿いを行き、新幹線ガード、国道1号線高架橋下をくぐるとすぐに大岡駅、ここでトイレ休憩です。駅の直後に線路を渡り、大岡小の横を通り、その後は線路沿いを沼津駅まで歩きゴールです。お疲れ様でした。

コース

往路(JR) 富士宮駅南口==富士駅==沼津駅==裾野駅
7:50(8:04 発) 8:24-34 8:53-9:14 9:28

ウォーク 裾野駅(WC)・・・佐野原神社(体操・WC)・・・長泉なめり駅(WC)・・・下土狩駅
9:28～ 9:35～9:55 11:00～15 12:00
・・・コミュニティ長泉(WC)・・・鮎壺の滝公園(昼食・WC・表彰式)
12:05～15 12:25～13:50
・・・大岡駅(WC)・・・沼津駅(WC)
14:40～55 15:40

復路(JR) 沼津駅==富士駅==富士宮駅
15:59 16:17-16:31 16:44

JR時刻表

下土狩(発)	沼津(着)	沼津(発)	富士(着)	富士(発)	富士宮(着)
13:48	13:54	14:15	14:29	14:33	14:52
14:24	14:30	14:36	14:58	15:11	15:30
		14:45	15:05	15:11	15:29
15:08	15:16	15:37	15:52	16:16	16:34
		15:46	16:05	16:31	16:44
		15:59	16:17	↑	↑
		16:20	16:38	16:47	17:05

次回申込 (昼食場所で) 高遠の桜と春日公園 花見ウォーク

☆期日 4月13日(水)
☆集合 富士宮駅南口 6:30
☆参加費 5,200円
☆切 4月8日(金)

参加者の皆様へ

- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。



緊急時連絡

増田敏幸 080-2612-4825
佐野和行 090-3550-3500

鮎壺の滝

鮎壺の滝(あゆつぼのたき)は静岡県沼津市と駿東郡長泉町の境界を成す黄瀬川の滝。落差は約10mで、幅は約90m。1996年(平成8年)3月12日、静岡県から天然記念物に指定された。およそ1万年前に富士山の噴火によって流れてきた三島溶岩流の流れ落ちる滝である。この溶岩流の下は愛鷹ローム層になっている。「鮎壺」という名は、鮎がこの滝で止められ群れていたことに由来するといわれている。「藍壺の滝」、「富士見の滝」とも呼ばれた。岩盤の底には溶岩樹型も複数見られる。滝の下流、長泉町側には昭和56年に鮎壺公園、沼津市側は緑地として整備され、両者の間には吊り橋が設置されている。この橋からは川中からの視点で滝を觀賞することができる。なお、滝の主たる管理者は長泉町である。